

令和3年度鹿屋市当初予算 総括表

(単位：千円,%)

区 分		令和3年度		令和2年度	対前年度比較	
		当初予算額	構成比	当初予算額	増減額	増減率
一 般 会 計		52,170,000	67.7	53,400,000	▲ 1,230,000	▲ 2.3
特 別 会 計	国民健康保険事業	11,672,092	15.2	11,528,319	143,773	1.2
	後期高齢者医療	1,388,484	1.8	1,376,172	12,312	0.9
	介護保険事業	11,804,453	15.3	11,455,431	349,022	3.0
	小 計	24,865,029	32.3	24,359,922	505,107	2.1
合 計		77,035,029	100.0	77,759,922	▲ 724,893	▲ 0.9

(単位：千円)

公 営 企 業 会 計	区 分	水道事業	下水道事業
		収 益 的 収 入	1,858,265
	収 益 的 支 出	1,653,454	912,951
	資 本 的 収 入	50,724	201,686
	資 本 的 支 出	884,679	584,492

令和3年度一般会計当初予算の概要

予算編成の考え方

令和3年度は、コロナ禍の影響により地域経済が低迷する中において、これまで以上に持続可能で健全な財政運営を念頭に置き、第2次鹿屋市総合計画の基本構想に掲げるまちづくりの将来像

“ひとが元気！まちが元気「未来につながる健康都市 かのや」”

の実現に向けた施策・事業を推進する予算として編成しました。

予算規模 **521億7,000万円**

前年度当初予算比 (▲12億3,000万円 ▲2.3%)

基本目標の実現に向けた取組を力強く展開

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 基本目標1：やってみたい仕事ができるまち | 基本目標4：未来につながる住みよいまち |
| 基本目標2：いつでも訪れやすいまち | 基本目標5：ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち |
| 基本目標3：子育てしやすいまち | 市政運営 |

8.5億円

ウィズ/アフターコロナ対策

- サテライトオフィスの誘致促進
- デジタル教材を活用した学びの充実
- 「行かない」市役所、「書かない・待たない」窓口の実現
- 新しい生活様式に対応した健康づくりの展開

特に重点的に取り組む項目

30.4億円

人口減少社会を見据えたまちづくり

- 移住サポートセンターを核としたU・Iターン施策の充実
- 産学官金連携による地元雇用の確保
- 多極ネットワーク型コンパクトシティの推進
- 高校生までの医療費完全無償化

17.6億円

地域資源を生かした地域活性化

- 第一次産業を生かした新たな食・農ビジネスの創出
- 農畜産業スマート化の加速
- 平和の発信と平和交流の推進
- 地元プロチームや大学との連携・施設整備によるスポーツ振興

当初予算額の比較

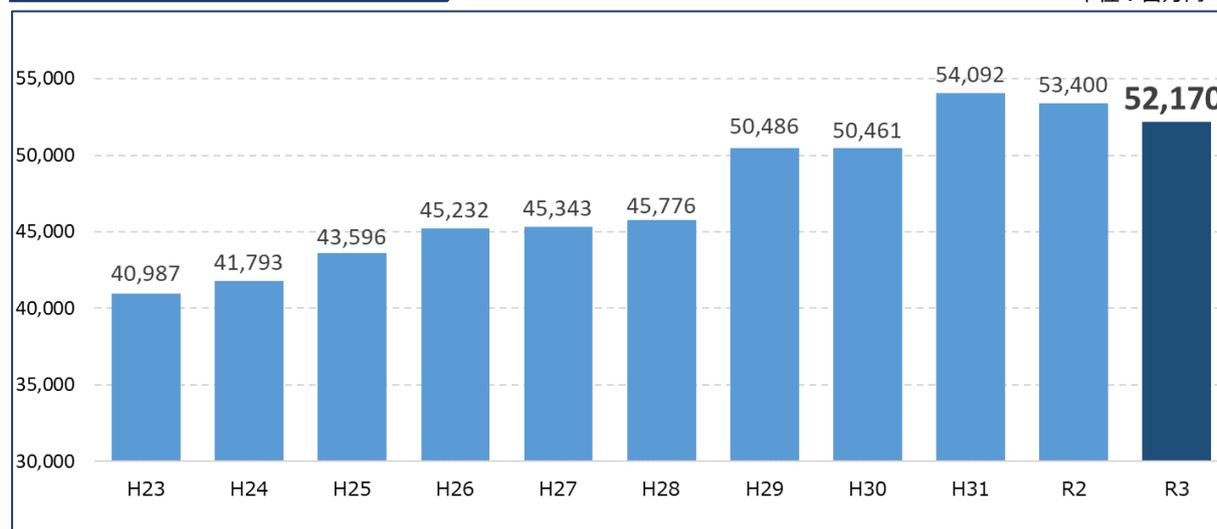
単位：百万円

区分		令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
一般会計		52,170	53,400	▲1,230	▲2.3%
特別会計	国民健康保険事業	11,672	11,528	144	1.2%
	後期高齢者医療	1,388	1,376	12	0.9%
	介護保険事業	11,804	11,455	349	3.0%
	小計	24,865	24,360	505	2.1%
合計		77,035	77,760	▲725	▲0.9%

注) 各数値の表示未満は四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合があります。

一般会計当初予算額の推移

単位：百万円



注) H26 及び H30 は当初予算が骨格予算のため6月補正後の予算額

主な増減理由

※括弧内は前年度からの増減額

- 国営肝属中部畑地かんがい事業償還 皆減 (▲ 11億1,282万円)
 - ・償還期間：令和元年度～2年度
 - ・償還総額：約30億円

- 鹿屋女子高等学校整備事業 皆減 (▲ 5億3,028万円)
 - ・整備期間：平成30年度～令和2年度
 - ・総事業費：約30億円

- 中学校校舎増改築事業 皆減 (▲ 4億2,398万円)

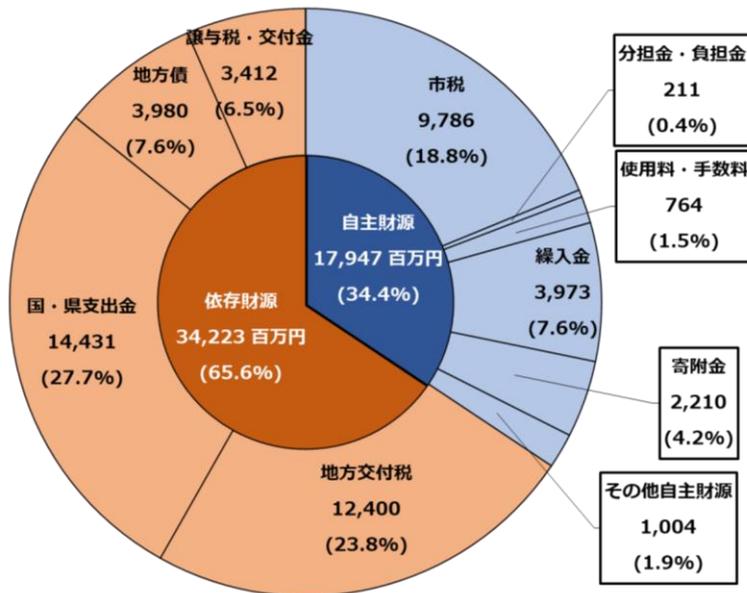
- 国体準備に要する経費 560万円 (▲ 4億 217万円)

- (仮称) 北部学校給食センター整備 13億9,136万円 (8億3,725万円)
 - ・整備期間：令和元年度～3年度
 - ・総事業費：約20億円

歳入・歳出の内訳

歳入予算の内訳

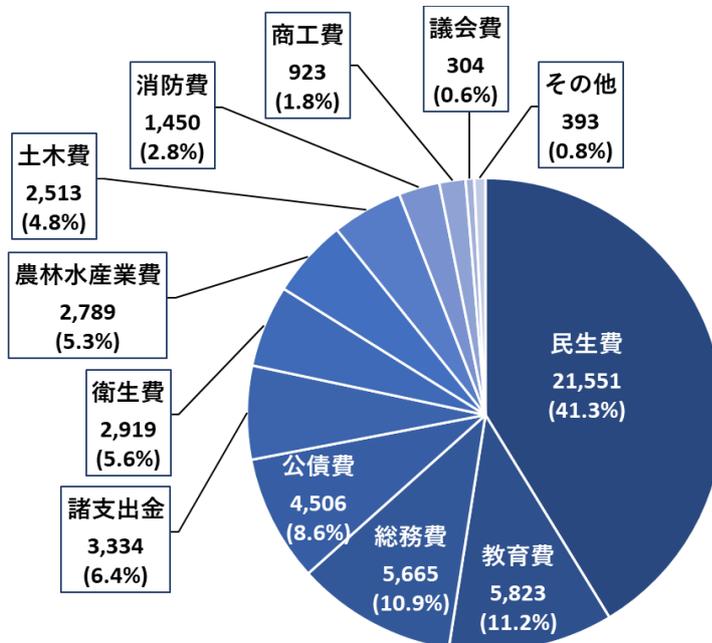
単位：百万円



歳入科目	予算額
市税	9,786
分担金・負担金	211
使用料・手数料	764
繰入金	3,973
寄附金	2,210
その他	1,004
自主財源	17,947
地方交付税	12,400
国・県支出金	14,431
地方債	3,980
譲与税・交付金	3,412
依存財源	34,223
合計	52,170

歳出予算（目的別）の内訳

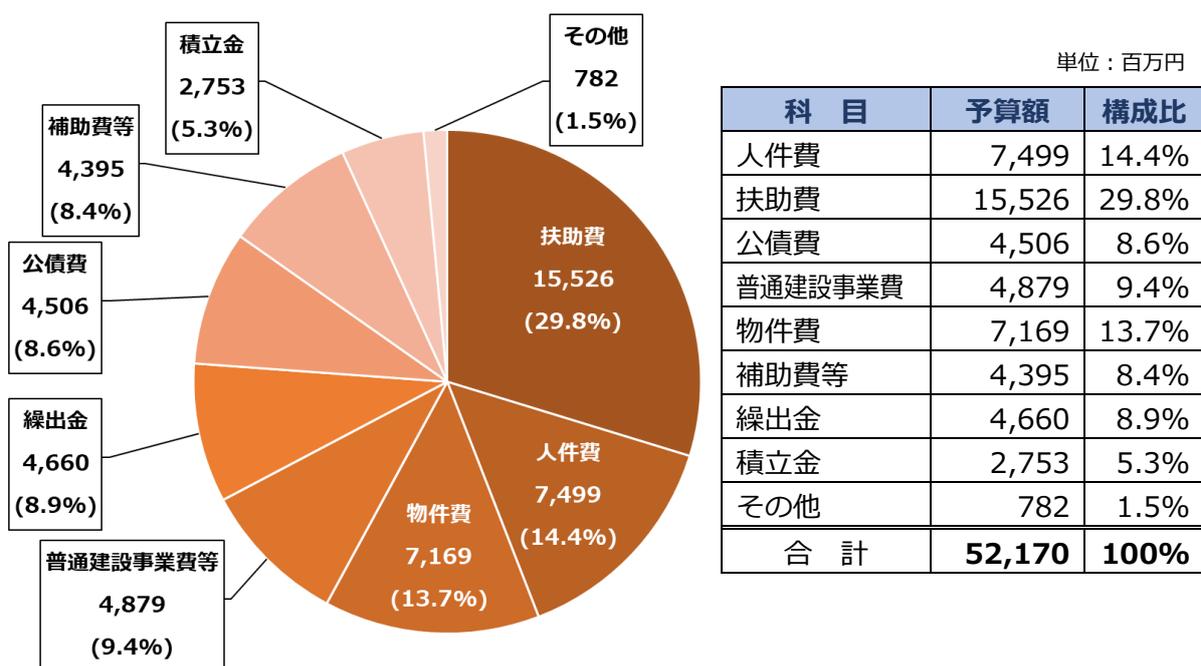
単位：百万円



科目	予算額	構成比
議会費	304	0.6%
総務費	5,665	10.9%
民生費	21,551	41.3%
衛生費	2,919	5.6%
農林水産業費	2,789	5.3%
商工費	923	1.8%
土木費	2,513	4.8%
消防費	1,450	2.8%
教育費	5,823	11.2%
公債費	4,506	8.6%
諸支出金	3,334	6.4%
その他	393	0.8%
合計	52,170	100%

注) 各数値の表示未満は四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合があります。

歳出予算（性質別）の内訳



注) 各数値の表示未満は四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合があります。

主な増減理由

※括弧内は前年度からの増減額

区分	科目	増減理由
歳入	市 税	97億8,560万円 (▲ 7億1,635万円) ▶新型コロナウイルス感染症の影響による市民税の減及び中小企業の所有する償却資産及び事業用家屋に係る固定資産税等の負担軽減措置（国のコロナ対策）による減
	繰 入 金	39億7,266万円 (▲ 4億5,960万円) ▶国営肝属中部畑地かんがい事業償還終了による基金繰入金の減
	寄 附 金	22億1,000万円 (2億1,000万円) ▶ふるさと鹿屋応援寄附金（ふるさと納税）の増額見込み ▶企業版ふるさと納税、クラウドファンディング型ふるさと納税の増
歳出	農林水産業費	27億8,942万円 (▲ 13億2,129万円) ▶国営肝属中部畑地かんがい事業償還終了による減
	教 育 費	58億2,319万円 (▲ 7億2,493万円) ▶鹿屋女子高等学校整備事業及び中学校校舎増改築事業終了による減

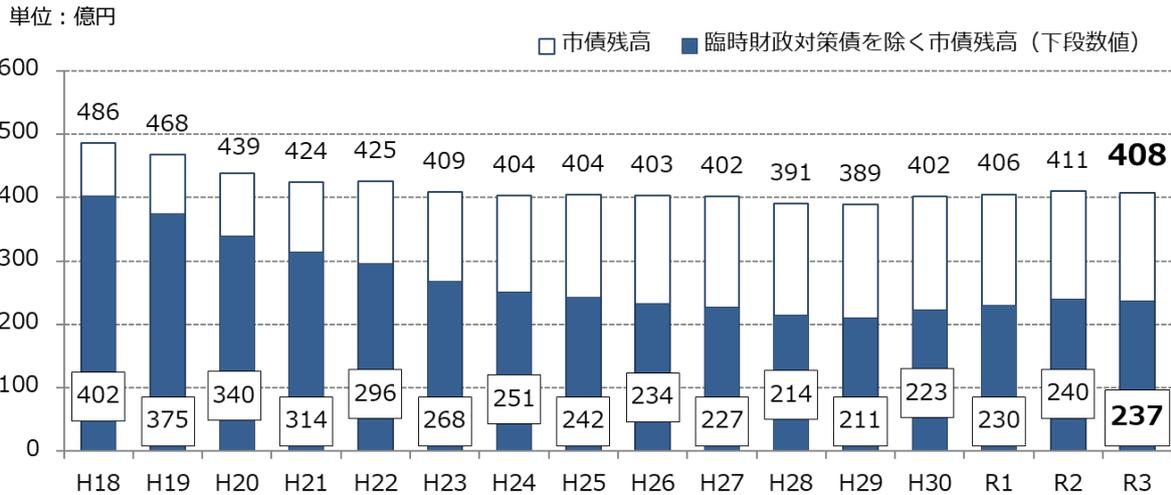
財政健全化

市債残高の縮減

市債残高

令和3年度末（見込み） **408億円**
 （平成18年度末比較 ▲78億円）

※臨時財政対策債を除く市債残高
237億円（平成18年度末比較 ▲165億円）



臨時財政対策債：地方公共団体に交付されるべき地方交付税の振替として発行される市債で、元利償還金の全額が地方交付税措置されます。

基金残高の確保

基金残高

令和3年度末（見込み） **143億円**
 （平成18年度末比較 +52億円）



※R1～R2の減は、国営肝属中部畑地かんがい事業償還のための基金取崩し（R1：▲15億円、R2：▲5億円）によるもの

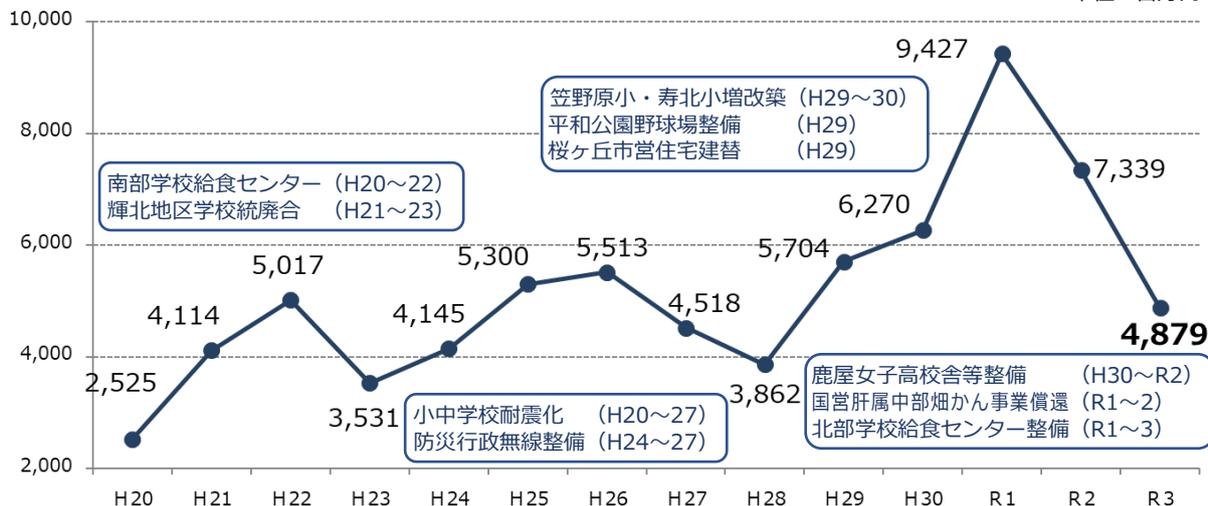
普通建設事業費（公共工事）の状況

普通建設事業費

48億7,896万円
 (前年度比 ▲24億5,972万円 ▲33.5%)

普通建設事業費の推移

単位：百万円



主な事業

※括弧内は前年度からの増減額

- (仮称) 北部学校給食センター施設整備事業 13億1,437万円 (7億6,089万円)

供用開始(予定)	総事業費	延床面積	調理能力
令和3年9月	1,972百万円 (R1~R3予算額)	1991.33㎡	4,000食/日

- 中学校空調化推進事業 2億3,452万円 (1億666万円)

・鹿屋東中学校(管理棟、教室棟)の空調未整備教室の空調設置工事

- スポーツ施設整備事業 1億6,905万円 (4,500万円)

・主な整備内容

施設名	整備内容
鹿屋中央公園	ソフト・サッカー場：照明LED化、グラウンド改修 テニスコート：照明LED化
鹿屋運動公園	陸上競技場：ウレタン舗装改修
野里運動広場	設計(サッカー場1面、テニスコート9面、管理棟)

<主な減額理由>

- ・国営肝属中部畑地かんがい事業償還 皆減 (▲11億1,282万円)
- ・鹿屋女子高等学校整備事業 皆減 (▲5億2,532万円)
- ・中学校校舎増改築事業 皆減 (▲4億1,324万円)

注) 普通建設事業費のみを集計しているため、事業費と一致しない場合があります。

扶助費の状況

扶助費

155億2,593万円
(前年度比 +1億6,711万円 +1.1%)

障がい福祉サービスの充実や子ども医療費助成の対象を高校生まで広げたことなど、社会保障の充実による増加



主な事業

※括弧内は前年度からの増減額

○自立支援給付事業(障がい福祉サービス) 37億8,583万円(2億3,409万円)

・障がい福祉サービスの利用件数の推移

区分	H30	R1	R2見込	R3見込
利用件数	33,626件	35,605件	38,315件	41,848件

○子ども医療費助成事業 4億3,520万円(3,174万円)

・無償化の対象

区分	R2	R3	影響(対象者数)
対象者	中学卒業まで (約14,900人)	高校卒業まで (約17,600人)	約2,700人増

○生活保護事業 19億4,214万円(▲1億5,976万円)

・生活保護人員の推移

区分	H30	R1	R2(12月末)	R3見込
生活保護人員	1,219人	1,148人	1,138人	1,093人

〈基本目標ごとの概要〉

基本目標 1 やってみたい仕事ができるまち

基本目標 2 いつでも訪れやすいまち

基本目標 3 子育てしやすいまち

基本目標 4 未来につながる住みよいまち

基本目標 5 とともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

市政運営

基本目標 1 やってみたい仕事ができるまち

1,997 百万円

基本施策① 活力ある農林水産業の振興

1,643 百万円

■ 地域 6 次産業化推進事業

11.4 百万円

本市の基幹産業である第一次産業を基軸とした地域 6 次産業化による高付加価値化や販路開拓、輸出支援等により、地域所得の向上を図ります。

新 ▶ 地域資源を生かした新たな食・農ビジネスの創出 1.4 百万円

- ・ 地域資源を生かした食・農に関する新たなビジネスを創出するためのフォーラムを開催

新 ▶ 新たな生活様式に対応した販路開拓支援 4.7 百万円

- ・ リモート商談会の開催による販路開拓支援
- ・ EC サイト（電子商取引）導入等に係る経費を支援

■ スマート農業推進事業

13.3 百万円

農業や畜産の現場における作業の効率化と生産性の向上を図るため、「かのや型スマート農業推進方針」に基づき、統合環境制御装置や農業用ドローンの普及を推進します。



▶ スマート農業の加速化支援 11.0 百万円

- 拡 ・ ハウス内環境データを収集・蓄積し、施設園芸のスマート化を加速させるための統合環境制御装置の導入支援
- ・ 作業の効率化・省力化を図るための農薬散布用ドローンの導入支援

■ がんばる畑作応援事業

15.0 百万円

さつまいも基腐病菌密度の低減を図るため、被害が著しいほ場において国の事業を活用し他作物への転換を行う生産者を支援します。

また、県の補助事業を活用した機械整備を支援し、本市農業の一層の発展及び農家の経営安定を図ります。

新 ▶ 輪作によるさつまいも基腐病対策支援 10.0 百万円

輪作対象作物	支援額	支援対象
野菜類	10,000 円/10a	他作物への転換により、菌密度の低減に取り組んだ農家
飼料等	5,000 円/10a	

▶ 生産性向上のための機械導入支援 3.9 百万円

- ・ 県の農業・農村活性化推進施設等整備事業を活用した薬剤噴霧機の導入を支援

■ 高品質かのや和牛産地化事業 549.2 百万円

「日本一和牛のふる里かのや」の確立と第12回全国和牛能力共進会（鹿児島県開催）に向けて、中心的な役割を担う畜産経営体の施設等の整備や繁殖農家・肥育農家における生産基盤の維持・拡大に対する支援を強化します。

▶ 繁殖・肥育農家支援の強化 70.6 百万円

拡・高品質な和牛生産による「和牛のふるさとかのや」の産地力強化のため、優良肥育素牛や優良繁殖雌牛の導入や牛舎整備等を支援

▶ 収益力強化のための畜舎等の整備支援 478.6 百万円

・畜産クラスター事業を活用した収益力強化に必要な施設整備

基本施策② 商工業の振興と雇用の促進 354 百万円

■ 企業誘致サポート事業 251.9 百万円

企業進出やサテライトオフィスの誘致に向けた取組を進めることで、雇用機会の拡大や地域経済の活性化を図ります。

また、立地協定を締結した企業が行う設備投資等に対する助成を行うことで、企業活動の促進及び市内定着を推進します。

新 ▶ サテライトオフィスの誘致促進 26.2 百万円

・サテライトオフィス誘致の誘因策（環境整備・地元雇用等に対する補助）の新設

新 ▶ 企業誘致サポーター制度の創設 2.4 百万円

・企業進出情報の収集や誘致活動のサポート・助言を行う企業誘致サポーターと連携し、効果的かつ効率的な誘致活動を実施

▶ 立地協定締結企業の設備投資等に対する支援 212.1 百万円

■ 人材確保・担い手育成事業 95.1 百万円

人口減少に加え、若年労働者の市外・県外流出が進む中、地元企業の人材確保に資する新たな取組の可能性を模索するため、産学官金連携による調査・研究を行います（企業版ふるさと納税の活用を目指します）。

また、農畜産業における後継者等への機械導入支援や新規就農研修資金等の支援を行い、担い手育成・確保を通じて地域の農業の維持・発展を図ります。

新 ▶ 雇用支援施策構築のための調査・分析 11.5 百万円

・地元雇用の拡大に向けた施策を構築していくため、アンケート調査や企業への訪問等を行い、市内企業の雇用の実態や問題点の分析を実施

▶ 農業後継者への支援 79.3 百万円

・新規就農者への研修期間の生活資金や就農開始資金を支援
・農業後継者が規模拡大等のために行う機械や設備等の導入を支援

基本目標 2 いつでも訪れやすいまち

4 1 1 百万円

基本施策① 地域資源を生かした観光の推進

180 百万円

■ 戦争遺跡保存活用事業

22.8 百万円

日本最大の特攻基地や多くの戦争遺跡を有するまちとして、戦争の記憶を未来へ語り継ぐため、CGを活用してVR映像化し、来訪者が仮想体験できる環境を整備することで、平和ツーリズムを推進します。

新 ▶ 戦争関連資料映像制作

13.7 百万円

- ・戦争遺跡のVR映像化（串良基地跡、笠野原基地跡、^{かねはま}金浜海岸）

▶ 旧海軍飛行場ゆかりの4市連携平和ツーリズム

6.5 百万円

- ・空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会への負担金
（兵庫県姫路市、兵庫県加西市、大分県宇佐市、鹿屋市）

■ ばらを活かしたまちづくり推進事業

25.7 百万円

鹿屋の地域資源である「ばら」や「かのやばら園」の魅力を最大限に生かしたイベントや情報発信を行い、地域活性化を図ります。

また、かのやばら園を、より多くの来園者が訪れる魅力あるばら園となるようリニューアル構想を策定します。

新 ▶ かのやばら園リニューアル構想策定

2.3 百万円

- ・専門家等による検討委員会を設置し、さらなる魅力あるばら園となるようリニューアル構想を策定

▶ かのやばら祭り等の開催

16.5 百万円

- ・かのやばら祭り（春・秋）など、コロナ禍でも可能なイベントの開催

基本施策② スポーツによる交流の推進

217 百万円

■ スポーツによる交流推進事業

27.6 百万円

スポーツイベントの開催をはじめ、プロサイクリングチーム「CIEL BLEU KANOYA」や令和2年12月に県内初の女子プロソフトボールチームとして発足した「MORI ALL WAVE KANOYA」の支援、自転車を生かしたまちづくりの推進、鹿屋体育大学やかのやスポーツコミッションと連携したスポーツ合宿の誘致を推進します。

新 ▶ サイクリストサポート施設の整備 **1.1 百万円**

- ・ 自転車走行環境の整備のために、市内 25 か所の民間・公共施設にサイクルスタンドや空気入れ等を設置

拡 ▶ ホームタウンチームへの支援 **2.0 百万円**

- ・ 新たに設立した地元プロスポーツチームを加えた 2 チームに対してユニフォームへの広告掲載や P R グッズの製作費を支援

▶ ホームタウンチーム・大学との連携による交流推進 **9.2 百万円**

- ・ 「CIEL BLEU KANOYA」と連携したサイクリング P R イベントの開催
- ・ 鹿屋体育大学の施設を活用したスポーツイベントや合宿の誘致

■ スポーツ施設整備事業 **189.4 百万円**

市民がスポーツに親しみやすい環境づくりや各種大会、スポーツ合宿誘致による交流を促進するために、スポーツ施設の整備を行います。

新 ▶ スポーツ施設の整備 **189.4 百万円**

- ・ 主な整備内容

施設名	整備内容
鹿屋中央公園	ソフト・サッカー場：照明 L E D 化、グラウンド改修 テニス場：照明 L E D 化
鹿屋運動公園	陸上競技場：ウレタン舗装改修
野里運動広場	設計（サッカー場 1 面、テニス場 9 面、管理棟）

基本施策③ 移住・定住の推進 **14 百万円**

■ 人口維持・移住促進事業 **14.4 百万円**

令和 2 年 4 月に設置した「かのや移住サポートセンター」を中心に、移住希望者に届く情報発信等に取り組みます。

また、人口減少対策の第一段階として若者の出会いの場を創出し、結婚のきっかけづくりをサポートします。

新 ▶ 若者の出会いの場づくり **1.5 百万円**

- ・ イベントの開催や趣味に特化した講座を開催するなど、若者の出会いの場を創出し、結婚のきっかけづくりをサポート

拡 ▶ 移住希望者への情報発信 **8.7 百万円**

- ・ 本市への移住希望者に向けた受入体制の強化や新たに P R 動画を制作し、効果的な情報を発信

基本目標3 子育てしやすいまち

3,324百万円

基本施策① 子育て支援の充実

1,084百万円

■ 子ども医療費助成事業

459.3百万円

安心して子どもを産み育てやすい環境づくりとして、これまで中学生までと
していた医療費無償化の対象を高校生まで広げ、子育て世帯の経済的負担の軽
減を図ります。

拡 ▶ 医療費無償化の拡充

- ・ 助成対象：高校卒業まで（18歳に達する日以後の最初の3月31日まで）
- ・ 助成開始：令和3年4月の保険診療分から

拡 ▶ 窓口負担の無料化（現物給付方式）の拡充

区分	現行制度	改正後(令和3年4月～)
対象	非課税世帯の未就学児	非課税世帯の高校生まで

■ 地域子育て支援拠点事業

55.4百万円

令和2年10月に開設した子育て交流プラザやつどいの広場等の運営を通
じ、子育て世帯の交流や遊びを通じた健康増進、相談支援による育児ストレス
の解消など、地域における子育て支援機能の充実を図ります。

区分	実施場所	開館日(予定)
子育て交流プラザ	県民健康プラザ健康増進センター内	火～日※ (週6日)
つどいの広場	東・西原・田崎地区学習センター 串良ふれあいセンター	月・水・金 (週3日)
	リナシティかのや	月～金(週5日)

※子育て交流プラザについては、新型コロナウイルスの感染状況等を
踏まえ、令和3年度中に現在の週3日から週6日の開館へ変更予定

■ 不妊治療費助成事業

12.7百万円

不妊に悩む夫婦の精神的負担や経済的負担の軽減を図るため、高額な医療費
がかかる特定不妊治療に要する費用の一部を助成します。

区分	内容
助成額	1年度当たり上限10万円（通算5年間）
所得制限	1世帯当たり730万円未満としていた所得制限を撤廃

拡

■ ICT教育推進事業

90.4 百万円

デジタル教科書（指導者用教材）の導入やインターネットを利用する英語力テストの実施等 1 人 1 台のタブレット端末を活用した学習を推進し、視覚的な学びと表現力を育む「わかる」授業の推進に取り組みます。

新 ▶ ICT機器を活用した英語力強化

1.9 百万円

対象学年		事業内容
小学校	6 年生	・タブレット端末を活用した英語技能を測るテスト「スピーキングクエスト」を実施 ・自宅や学校の端末を使って WEB 上で学習可能
中学校	全学年	・県事業を活用した「英検 I B A」を実施 ・自宅や学校の端末を使って WEB 上で学習可能

新 ▶ G I G A スクールサポーターの配置

22.0 百万円

主な業務：・学校における機器障害やネットワークトラブル等への対応
・教職員や管理者向けの各種研修会の実施

拡 ▶ デジタル教科書（指導者用教材）の導入

21.1 百万円

対象学年		教科
拡 小学校	5・6 年生	社会・理科 ※ R2 教科書改訂に合わせ全学年に国語・算数導入済
新 中学校	全学年	国語・数学・英語・理科・社会 ※ R3 教科書改訂に合わせ導入

■（仮称）北部学校給食センター施設整備・運営事業

1,542.1 百万円

令和 3 年 9 月の供用開始に向けて施設整備を進めるとともに、安全安心な給食を提供できる体制を整え、円滑な業務開始と安定した運営に努めます。



区分	予算額	事業内容
施設整備	1,391 百万円	給食センター本体工事、外構工事 調理備品や食器等什器の購入
運営経費	151 百万円	給食調理配送業務委託経費 施設管理委託、光熱水費等

■ 鹿屋女子高活性化事業

26.1 百万円

令和 2 年度から本格実施した総合選択制や課題研究、音楽活動支援や関係人口創出を目的とした楽器寄附などの取組に加え、鹿屋体育大学との連携による部活動の活性化など、特色ある取組を進め、本市の未来を担う生徒を育成します。

新 ▶ 鹿屋体育大学との連携などスポーツ分野の強化

1.5 百万円

- ・鹿屋体育大学施設での最新機器を用いたスキル測定
- ・大学教員による専門的視点からの指導者向け講座の実施

拡 ▶ 楽器の充実（楽器購入、楽器ふるさと納税の実施）

7.8 百万円

▶ 総合選択制・課題研究

4.6 百万円

基本目標 4 未来につながる住みよいまち

2,840 百万円

基本施策① 快適な生活基盤づくりの推進

2,050 百万円

■ 雨水排水対策事業

146.1 百万円

5号排水路の負荷を軽減するための調査・研究や、新川地区への雨水の流入を防止及び分水させるための新たな排水路の整備を行います。

また、都市公園などの公共施設に雨水流出抑制施設の設置などに取り組み、市内各所で発生している浸水・冠水被害の改善を図ります。

新 ▶ 排水路負荷軽減対策の検討

6.2 百万円

- ・ 5号排水路の負荷軽減対策のための防災調整池の有効性等に関する調査研究

新 ▶ 流域分散排水路の整備

6.0 百万円

- ・ 新川地区への雨水の流入の防止及び分水させるための排水路整備

拡 ▶ 公共施設用地への流出抑制施設の整備

9.8 百万円

- ・ 都市公園等に雨水を一時的に貯留し、下流側への排水量を軽減させる流出抑制施設を整備

■ 道路整備事業

565.6 百万円

主要な幹線道路の整備による周辺地域とのアクセス機能の向上及び農道や林道の整備による第一次産業の安定と地域住民の利便性の向上を図ります。

事業内容	整備箇所
主要幹線道路整備事業	西原46号線 外6路線
	西原郷之原線外2路線（再編交付金事業）
県営道路整備事業	寿大通線 外5路線
農道整備事業	吾平東34号線 外3路線
県単林道整備事業	林道ツイデ平線

■ 立地適正化計画策定事業

9.1 百万円

複数の拠点を決めて住宅や生活サービスを集約させることで、市街地や地域拠点の利便性を高め、良好な居住環境の形成を図る立地適正化計画を策定し、多極ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けた取組を推進します。

▶ 立地適正化計画の策定

9.1 百万円

- ・ 居住や都市機能を誘導すべき区域、誘導施策等を策定

基本施策② 安全で安心な生活の実現

329 百万円

■ 二次救急医療体制支援事業

58.9 百万円

大隅地域における重症救急患者の医療体制を維持・確保するため、救急搬送患者数の増加や人材確保等の課題を抱える二次救急医療機関の安定的な運営を支援し、市民の安全で安心な生活の実現を図ります。

新 ▶ 重症救急患者の受入を行う医療機関への助成制度の創設

- ・対象医療機関：大隅地域の9医療機関（公立病院除く。）
- ・助成額：救急搬送受入者者×13,000円（上限2千万円／病院）
- ・補助実施者：大隅地域4市5町が共同で助成を実施

■ 防災・減災対策事業

120.3 百万円

大地震等による崩落の予防を図るための大規模盛土造成地の調査や災害の未然防止を目的とした河川の浚渫等を進め安全安心な生活基盤を構築します。

また、令和2年7月豪雨で被災した地域を重点地区と位置付け、自主的に地域の生命財産を守る組織の支援を行います。

新 ▶ 大規模盛土造成地変動予測調査

6.0 百万円

- ・大規模盛土の調査及び安全性の評価の実施

▶ 地域防災力強化事業

16.2 百万円

- ・避難所の機能強化や自主防災組織の防災活動に対する支援

基本施策③ 自然環境にやさしいまちづくりの推進

461 百万円

■ 環境対策推進事業

108.9 百万円

SDGsへの取組の一つとして、ごみ減量化・地球温暖化対策など環境分野に関する講演会や子供向けワークショップなどを行う「(仮称)鹿屋市環境フォーラム2021」の開催や、「かのや3キリ運動」及び「3010運動」の取組を促進し、市民・事業者・行政が一体となった、自然環境にやさしいまちづくりを推進します。

また、鹿屋市畜産環境センター利用農家の自己処理施設の整備促進等による畜産環境対策を推進します。

新 ▶ 「(仮称)鹿屋市環境フォーラム2021」の開催

2.9 百万円

- ・SDGs（環境対策）を推進するための機運醸成（基調講演や子供向けワークショップの開催）

▶ 畜産環境対策等の推進

105.1 百万円

- 新**・鹿屋市畜産環境センター利用農家の自己処理施設の整備支援

- 拡**・新たな臭気対策資材の導入や、畜産パトロールの強化などを実施

基本目標 5 ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

1,024百万円

基本施策① 地域福祉の充実

546百万円

■ 生活困窮者自立支援事業

12.9百万円

生活上の様々な困難に直面している方々が自立した生活を送れるよう、生活や就労など幅広い相談に対応する支援員の配置や、住居確保のための家賃補助など、一人ひとりの状況に応じた各種支援を実施します。

▶ 就労や家計改善等に関する相談員の配置

7.7百万円

- ・ 就労相談等の内容に応じた支援プランの作成等

▶ 住居確保給付金の支給（家賃費用の助成）

4.1百万円

- ・ 支給額：24,200円～44,000円（世帯人数による）
- ・ 支給期間：原則3か月（最長9か月）

■ 農福連携・障害者支援事業

3.9百万円

障害がある方が安心して日常生活を送り、社会参加ができるよう、農福連携の更なる推進や、多様なニーズへの対応など、地域での生活の支援機能の充実を図ります。

新 ▶ 農福連携推進事業

1.1百万円

- ・ 障がい者に就労の機会を提供するとともに、農家の労働力を確保するため、就労支援施設と農業者のマッチング等を行う。

新 ▶ 遠隔手話サービスの実施

1.0百万円

- ・ 聴覚障害者が通院等で手話通訳者の同行が困難な場合に、関係機関と連携してタブレットやスマホを通じた遠隔手話サービスを提供

新 ▶ 医療的ケア児の安全対策事業

1.8百万円

- ・ 医療機器を使用する医療的ケア児の停電時等の安全を図るため、通所等施設における自家発電機器の整備を支援

基本施策② 健康づくり・生きがいづくりの推進

312 百万円

■ アプリを活用した運動習慣定着化事業

3.4 百万円

市民の健康増進を図るため、新たにアプリを活用して、ウォーキング歩数に応じた特典など、楽しく継続して取り組める事業を展開し、健康づくりのきっかけ作りや運動の習慣化を促進します。

新 ▶ 健康づくりアプリの導入

3.4 百万円

- ・アプリを活用したオンライン方式によるスポーツイベントの実施
- ・目標歩数達成者への特典の提供

■ 健診から始める健康づくり事業

25.7 百万円

健診等をきっかけとして生活習慣病の発症予防や重症化予防につなげるため、AIを活用した受診勧奨や、働き盛り世代の無料健診、予約制健診の導入など、受診環境の充実を図ります。

▶ AIを活用した受診勧奨

5.8 百万円

- ・AIが分析した個人特性に応じた受診勧奨通知の送付

▶ 全ての集団健診等での予約制導入

15.1 百万円

- ・待ち時間の短縮など、コロナ禍に対応した3密対策として導入

▶ 30代無料健康診査の実施

4.8 百万円

基本施策③ 共生協働・コミュニティ活動の推進

166 百万円

■ 共生協働・コミュニティ活動推進事業

23.8 百万円

市民一人ひとりが支え合い、認め合い、笑顔あふれるまちかのやを実現するため、女性の声を市政に取り組むことで、魅力あるまちづくりに繋がります。

また、NPOやボランティア団体等の市民活動団体が、主体的に企画・実施する地域の課題解決に資する公益性の高い事業に対し、初期経費の一部を補助することで活動のスタートアップを支援します。

拡 ▶ 女性が奏でるまちづくり

1 百万円

- ・女性向けセミナー・ワークショップに加え、新たに男性向けセミナーを開催

▶ 市民活動支援事業

1 百万円

- ・市民活動団体が主体的に行う地域課題解決のための取組を支援

市政運営

4,078百万円

①スマート自治体の推進

32百万円

■スマート自治体推進事業

31.4百万円

令和3年3月策定予定の「鹿屋市役所スマート化計画」に基づき、「行かない」市役所、「書かない・待たない」窓口を実現するシステム導入等を行い、ICT利活用による市民の利便性向上を図るとともに、業務改善・ペーパーレス化による「効率的・効果的な行政運営」を推進します。

また、全職員のITリテラシー向上を図るスマート職員育成研修を制度化し、人材育成を進めます。



新 ▶ 「行かない」市役所

2.0百万円

- ・証明書等オンライン申請・決済システム導入

新 ▶ 「書かない・待たない」窓口

8.7百万円

- ・申請書事前作成システム導入、申請内容を管理システムに自動入力
→AI-OCR・RPA(自動入力)と連携し入力時間の短縮、正確性の向上

拡 ▶ 効率的・効果的な行政運営

11.3百万円

- ・自治体クラウドの推進 7.8百万円
- ・電子決裁システム活用促進 3.5百万円

拡 ▶ スマート職員育成研修の実施

3.4百万円

【再掲】スマート農業推進事業 13.3百万円 (統合環境制御装置や農業用ドローンの導入支援)

【再掲】ICT教育推進事業 90.4百万円 (デジタル教科書導入・タブレット端末活用)

②財源確保のための取組

3,890百万円

■ふるさと納税促進事業

1,158.6百万円

ふるさと納税制度を活用して、寄附していただいた市外の方に、本市の魅力ある特産品を返礼品としてお届けし、ふるさと納税の更なる推進を図ることにより、地域の魅力を市外に発信することで市のイメージ向上を図ります。

■ クラウドファンディング型ふるさと納税の活用 【寄附目標額】 5 百万円

本市の特性が伝わり、プロジェクトを通じて地域の未来像を共有できる「平和」、「スポーツ」、「ふるさと」をキーワードに対象事業を選定し、新たな資金調達の手法を積極的に活用します。



新 ▶ クラウドファンディング型ふるさと納税活用事業

・ 戦跡保存・平和の架け橋プロジェクト 19.0 百万円

戦争遺跡の保存活用を行うためのVR映像化、子どもたちによる平和メッセージの発信により、未来につながる平和への取組
【寄附目標額：2 百万円】

・ スポーツ都市かのや推進プロジェクト 14.1 百万円

本市を拠点とするプロスポーツチーム（「CIEL BLEU KANOYA」、
「MORI ALL WAVE KANOYA」）や鹿屋体育大学と連携したスポーツイベントの実施、スポーツを通じた地域活性化の取組
【寄附目標額：2 百万円】

・ あいら川プロムナード整備プロジェクト 3.8 百万円

四季折々の花が咲きほこり、多くの市民がウォーキング等を楽しむ始良川右岸の堤防管理道路に照明等を敷設し、夜桜なども楽しめる憩いの場・観光スポットを整備【寄附目標額：1 百万円】

また、市内事業者向けのクラウドファンディングセミナー等を開催し、地域全体で稼ぐ力を育てます。

新 ▶ クラウドファンディング・YouTubeセミナーの開催 1.7 百万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、経営が落ち込む事業所が多い中、資金調達や効果的な情報発信を学ぶセミナーを開催

■ 企業版ふるさと納税の活用 【寄附目標額】 5 百万円

国が認定した地方公共団体の地方創生に向けた取組に対し、企業から寄付を募ることで、官民連携による事業立案等に取り組み、地方創生の更なる推進を図ります。

新 ▶ 【再掲】雇用支援施策構築のための調査・分析 11.5 百万円

・ 地元雇用の拡大に向けた施策を構築していくため、アンケート調査や企業への訪問等を行い、市内企業の雇用の実態や問題点の分析を実施
【寄附目標額：5 百万円】

歳入歳出予算対前年度比較表

(1) 歳入

(単位 千円)

款	令和3年度 当初予算 (a)	令和2年度 当初予算 (b)	増減額 (a)-(b) (c)	増減率 (c)/(b) %
1 市税	9,785,600	10,501,950	▲ 716,350	▲ 6.8
2 地方譲与税	537,545	547,159	▲ 9,614	▲ 1.8
3 利子割交付金	5,000	5,000	0	0.0
4 配当割交付金	16,000	16,000	0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	10,000	10,000	0	0.0
6 法人事業税交付金	95,000	30,000	65,000	-
7 地方消費税交付金	2,120,000	2,200,000	▲ 80,000	▲ 3.6
8 ゴルフ場利用税交付金	8,000	8,000	0	0.0
9 環境性能割交付金	30,000	36,000	▲ 6,000	▲ 16.7
10 国有提供施設等所在市町村 助成交付金	500,000	500,000	0	0.0
11 地方特例交付金	75,000	70,000	5,000	7.1
12 地方交付税	12,400,000	12,250,000	150,000	1.2
13 交通安全対策特別交付金	15,000	15,000	0	0.0
14 分担金及び負担金	211,021	177,483	33,538	18.9
15 使用料及び手数料	764,344	773,915	▲ 9,571	▲ 1.2
16 国庫支出金	9,150,749	9,338,020	▲ 187,271	▲ 2.0
17 県支出金	5,280,724	5,642,372	▲ 361,648	▲ 6.4
18 財産収入	76,325	79,323	▲ 2,998	▲ 3.8
19 寄附金	2,210,001	2,000,001	210,000	10.5
20 繰入金	3,972,662	4,432,262	▲ 459,600	▲ 10.4
21 繰越金	600,000	600,000	0	0.0
22 諸収入	327,329	231,115	96,214	41.6
23 市債	3,979,700	3,936,400	43,300	1.1
歳 入 合 計	52,170,000	53,400,000	▲ 1,230,000	▲ 2.3
内 自 主 財 源	17,947,282	18,796,049	▲ 848,767	▲ 4.5
訊 依 存 財 源	34,222,718	34,603,951	▲ 381,233	▲ 1.1

(2) 歳出

(単位 千円)

款	令和3年度 当初予算 (a)	令和2年度 当初予算 (b)	増減額 (a)-(b) (c)	増減率 (c)/(b) %
1 議会費	303,855	303,733	122	0.0
2 総務費	5,664,766	5,527,458	137,308	2.5
3 民生費	21,550,825	21,291,564	259,261	1.2
4 衛生費	2,918,728	2,829,181	89,547	3.2
5 労働費	65,274	67,786	▲ 2,512	▲ 3.7
6 農林水産業費	2,789,420	4,110,708	▲ 1,321,288	▲ 32.1
7 商工費	923,098	1,267,678	▲ 344,580	▲ 27.2
8 土木費	2,512,643	2,499,196	13,447	0.5
9 消防費	1,449,732	1,594,582	▲ 144,850	▲ 9.1
10 教育費	5,823,192	6,548,122	▲ 724,930	▲ 11.1
11 災害復旧費	228,193	228,244	▲ 51	0.0
12 公債費	4,506,449	4,431,851	74,598	1.7
13 諸支出金	3,333,825	2,649,897	683,928	25.8
14 予備費	100,000	50,000	50,000	100.0
歳 出 合 計	52,170,000	53,400,000	▲ 1,230,000	▲ 2.3